

German
Data
Security



G Data Corporate Solutions 2011

AntiVirus

ClientSecurity

EndpointProtection



Go safe. Go safer. G Data.



あなたの会社に**安全と安心**を

～情報セキュリティと内部統制～

今、世界でもっとも繁栄している産業、それは「ネット犯罪」です。国境に関係なく連携しあった「顔の見えない」ネット犯罪者たちは、金儲けを主目的に、さまざまな手口を使って、あなたの会社のサーバーやパソコンに攻撃を仕掛けています。

また、今後さらに重要になってくるのが、パソコンやインターネットの利用に関連した「内部統制」です。デジタル情報の不適切な扱いは、「うっかり」で済まないほど、深刻な事態を引き起こしかねません。

世界最高水準のマルウェア検出率を誇る G Data は、このような外部からのさまざまな脅威から守るための、最も堅牢なセキュリティを提供するとともに、社内から生じる情報漏洩や社員の情報に対するモラル、業務効率などの内部統制ソリューションも用意しています。

外部攻撃

内部統制

ウイルス感染



新種マルウェア出現 年間 **200** 万種^{*1}

25 年前に登場して以来、増加を繰り返し、今では、1 日 5,000 種以上の新たなマルウェアが世界で発生。しかもウイルスという言葉の定義に収まりきらず、ワーム、トロイの木馬、スパイウェア、ルートキットなどさまざま。このような多種多様なマルウェアに対抗するためには、何重にも防御手段を持ったソフトウェアが必要です。

対策 = アンチウイルス



勝手にソフトをインストール



P2P ファイル共有ソフト利用者 国内 **36** 万人^{*4}

ウィニーなどのファイル共有ソフトは、会社のパソコンでも知らず知らずのうちに使われています。知らない間に会社の機密情報がネットにアップされたり、パソコンに不具合が生じるようなフリーツールを勝手にインストールされている場合もあります。しかし、パソコンをチェックするには、時間もかかりますし、従業員の士気にも影響しかねません。はじめからパソコンにインストールできるソフトを制限する仕組みが必要です。

対策 = アプリケーションコントロール



詐欺サイト



フィッシング被害 国内年間 **350** 万人^{*3}

「振り込み詐欺」が多発する日本国内では、これまでインターネットにおける詐欺サイトで金銭をだましとられることは、それほど注目されてきませんでした。しかしここ数年、日本語による詐欺サイトが増加し、特に YAHOO やオンラインバンキング、カード会社などが狙われており、予断を許しません。

対策 = アンチフィッシング



情報の持ち出し



情報漏洩被害 国内年間 **3,890** 億円^{*5}

外部デバイスは、確かに便利ですが、危険も多くなります。同僚のパソコンにデータをコピーするために USB メモリを使ったまま、どこかに忘れてしまうという事は、確率的に起こる可能性が高いと考えねばなりません。最悪の場合、人為的な漏洩さえあります。外部デバイスを使って情報を流出させないための仕組みが必要です。

対策 = デバイスコントロール



迷惑メール



スパム被害 国内年間 **8,269** 億円^{*2}

メールの約 7 割がスパムメールと言われています。マルウェア感染や詐欺サイトに誘導されるおそれがあるものもさることながら、不要なメールをチェックしたり削除することから発生する業務効率の低下が懸念されます。また、目にするだけで内容的にも不愉快なものが多いので、できるかぎり受け取らないような対策が望めます。

対策 = スпамフィルター



業務外サイトの閲覧



ネットの私的利用 ルールなし **80** 万社^{*6}

インターネットのコンテンツには、確実に業務に無関係なものがあり、場合によっては会社に不利益をもたらす場合さえあります。また、コンプライアンスにおいて、業務中に社員が掲示板に書き込みをした場合、企業の責任も一緒に問われます。できるだけ穏便に、内部統制を実行したいところです。

対策 = ウェブコンテンツコントロール



不正アクセス



DDoS 攻撃被害 国内年間 **???** 億円 (非公開)

不特定多数を攻撃するのにマルウェアがよく用いられているのに対して、近年増加しているのが、個別攻撃であり、通称 DoS (サービス不能) 攻撃です。特定のサーバーを狙い、個人情報を盗み出したり、機密情報を暗号化し「誘拐」するような手口があります。それゆえに被害総額も公にされていません。

対策 = ファイアウォール



非効率性



ネットの私的利用 従業員比率 **87%**^{*7}

電話と違ってインターネットを使っての作業は他人の目にはふれにくいので、残業をしているようにみえて実はネット閲覧を楽しんでいるだけ、というケースも起こりえます。会社としては、あまり厳しいことは言いたくないとは思いますが、ある程度の制限もつけたいものです。そのようなとき、インターネット閲覧の所要時間を設定する、という対処方法があります。

対策 = インターネット利用時間の監視



*1 G Data Security Lab (2011 年)、*2 日本データ通信協会 (2008 年)、*3 米ガートナー (2007 年)、*4 ネットエージェント (2009 年)、*5 日本ネットワークセキュリティ協会 (2009 年)、*6 労務行政研究所 (2010 年) の数値をもとに日本の中小企業数 400 万社とみなし割り出した値、*7 マルチメディア振興センター (2000 年)



G Data が選ばれる 6つの理由

数ある IT セキュリティソリューション、内部統制ソリューションのなかから G Data を選ぶ理由、それは、何よりも圧倒的なマルウェア検知率を支える多重に防御する先端テクノロジーの数々です。ダブルエンジンによりスキャン技術を飛躍的に高めつつ、さらにいくつかの技術を組み合わせることにより、「想定外」のリスクまでも低減しています。

また、インストールや設定、導入後の管理が、簡単であることも高い評価を受けている理由です。クライアント側も意識することなく安全な環境が得られ、シンプルなラインナップにより、低価格で導入でき、運用も効率的に行えます。

1 高検出率

99.9%

第三者機関のテストにおいて、圧倒的に多数回トップを占め続けてきたのが、G Data です。特に、ウイルス検出率については、40ヶ月にわたり 1 位を獲得し続け、殿堂入りを果たしました (AV-TEST)。ダブルスキャンをはじめさまざまな技術で多重防御を行っており、あなたの会社にマルウェアを侵入させません。

■ 世界に誇る「ダブルスキャン」

一般的に、二つのウイルススキャンエンジンを併用することはできません。双方が干渉しあい正常に動作しなくなるからです。G Data はこの難題をクリアし、性能が高く、異なる性質をもつ二つのエンジンを搭載することによって多種多様なマルウェアを徹底的に検知します。しかも、最新のウイルス定義ファイルは定期的かつ迅速に提供されます (1 時間に約 1 回)。

■ バンデミック対策に「アウトブレイクシールド」

定義ファイルが配布される前の新種マルウェアの攻撃は、スキャンエンジンではブロックできません。そういう事態も想定し、拡散した新種マルウェアを水際で食い止める技術である「アウトブレイクシールド」を採用することによって、「空白」の時間を発生させません。

■ フルスキャン時に活躍する「ヒューリスティック」

いくつかの技術を多層化して防御していたとしても、それでも未知のマルウェアがこっそり侵入しているかもしれません。そのために定期的にハードディスクのスキャンを行います。定義ファイルをもとにしたチェックのみならず、マルウェアの特性を示す情報をも探し出し、万全を期しています。

2 軽快な動作

Light

堅牢な防御を行うと同時に、軽い設計にこだわりました。クラウド技術を採用するだけではなく、ディスク全体をスキャンする際にも、可能な限り負荷を与えないようにしています。

■ フルスキャンの負荷を低減する「フィンガープリンティング」

ハードディスクにあるデータが多ければ多いほど、スキャンには時間がかかりますが、一度チェックをして安全性が認められたファイルについては、次回以降スキップすることにより時間や負荷を削減します。

■ デュアル (マルチ) コアで高速化する「パラレルスキャン」

CPU の処理能力を最大限に生かし、デュアルコアやマルチコアを使用している場合、マルチスレッディングが可能となり、処理速度を高速化できます。

3 管理しやすい



一括管理だからネットワーク内のパソコンの情報セキュリティや内部統制を簡単に行えます。専門知識がなくても、分かり易い操作画面により、誰でも管理者になれます。専門スタッフならば、管理業務の時間をより縮減できるでしょう。なお、管理ツールは、無料でお使いいただけます。

■ 誤検出防止と高速化を実現する「ホワイトリスト」

システムファイルやアプリケーションなど、確実に安全なデータをホワイトリスト化することによってスキャンをスキップさせ、スキャン時間を短縮化しています。同時に、システムファイルを誤検出して PC が起動しなくなるような事態も回避されます。

■ 不具合が発生しても安心できる「ロールバック」

定義ファイルの更新には細心の注意を払っていますが、万が一不適切な情報がある場合、クライアント PC に配布した定義ファイルのデータを撤回できます。

■ 起動できなくなったパソコンをレスキューする「ブート CD」

マルウェア感染もしくは何らかの不具合によってパソコンが起動しなくなった場合に、作成した CD-R ディスクにより緊急起動させて、データのレスキューやパソコンの復旧が行えます。

4 導入しやすい



管理しやすいだけではなく、インストールも簡単です。管理用のパソコンにインストールしたあとは、ネットワークにつながっているパソコンへとスムーズにインストールができます。

5 低コスト



高性能であってもコストがかさむと、導入は困難になりますが、G Data にはそんな心配はありません。きわめてコストパフォーマンスのよい価格設定にしています。

6 シンプル



製品が多いと、料金体系が複雑になり混乱しがちですが、3 製品で構成されている G Data のラインナップなら、迷うことはありません。また、サーバー OS もクライアント OS も Linux も、全て同じ 1 ライセンスと数えるので、とてもシンプルに導入できます。



シンプルに、3ラインナップ

G Data の法人向け（一括管理型）製品は、サーバーからクライアントのセキュリティ管理や内部統制を行うタイプの製品です。シンプルなアンチウイルス機能のみの製品 (AV)、外部からの攻撃全般に対応した製品 (CS)、外部攻撃に加えて内部統制にも対応した製品 (EP)、の 3 製品で構成されています。

EP G Data EndpointProtection Business

ジーデータ エンドポイント プロテクション ビジネス

外部攻撃（マルウェア、詐欺サイト、スパムメール、不正アクセス）への対策と、内部統制（ソフトのインストールや外部デバイス、ウェブ閲覧、ネット視聴時間の設定）への対策の両方ができる製品です。管理サーバー（または管理用 PC）から、全クライアント（デスクトップ、ノートパソコン、ファイルサーバーなど）を、一括管理します。

- ウイルス対策
- 詐欺サイト対策
- 迷惑メール対策
- 不正アクセス対策
- ソフト制御
- デバイス制御
- ウェブ閲覧制御
- ネット時間制御

CS G Data ClientSecurity Business

ジーデータ クライアントセキュリティ ビジネス

マルウェアだけではなく、スパムメールや詐欺サイト、さらには不正アクセスへの対策ができます。管理サーバーから全クライアントを一括管理します。

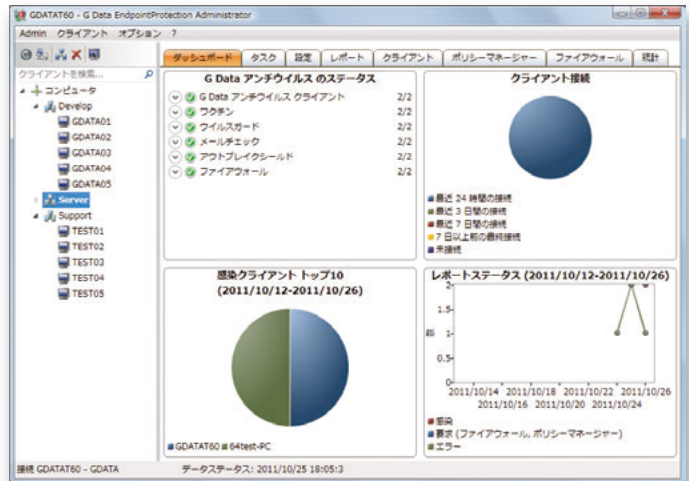
- ウイルス対策
- 詐欺サイト対策
- 迷惑メール対策
- 不正アクセス対策

AV G Data AntiVirus Business

ジーデータ アンチウイルス ビジネス

世界最高水準の検出率を誇るエンジンを搭載した、マルウェア防御のための製品です。管理サーバーから全クライアントを一括管理します。

- ウイルス対策
- 詐欺サイト対策



直感的に操作ができるインターフェイス

*マルチライセンスについて

一括管理型製品以外に、マルチライセンス製品を用意しています。サーバー管理を行わない場合に、各自で管理するパソコンのセキュリティとしてご利用いただけます。マルウェア対策のための「G Data アンチウイルス」と、外部からの攻撃を総合的に防御する「G Data インターネットセキュリティ」の 2 製品があります。

■ 製品構成一覧

	EP G Data EndpointProtection Business	CS G Data ClientSecurity Business	AV G Data AntiVirus Business
ウイルス対策	● マルウェア (ウイルス、ワーム、トロイの木馬、ボット、ルートキットなど) ● 詐欺サイト	● CS	● AV
インターネットセキュリティ対策	● 迷惑メール ● 不正アクセス	● CS	—
内部統制	● アプリケーション ● デバイス ● ウェブコンテンツ ● ネット視聴時間	—	—

動作環境

OS (マネジメントサーバー) :

Windows 7/Vista 32bit/64bit, Windows XP 32bit [SP2 以降を推奨],
Windows Server 2003/2003 R2 32bit/64bit,
Windows Server 2008/2008 R2 32bit/64bit (各日本語版)

OS (クライアント) :

Windows 7/Vista 32bit/64bit, Windows XP 32bit [SP2 以降を推奨],
Windows Server 2003/2003 R2 32bit/64bit,
Windows Server 2008/2008 R2 32bit/64bit (各日本語版)

CPU :

Windows 7/Vista/Server 2003(R2)/ Server 2008(R2) : 1GHz 以上,
Windows XP/2000 : Pentium III 500MHz 以上 [1GHz 以上を推奨]

HDD : 2GB 以上の空き容量 [3GB 以上を推奨]

メモリ (マネジメントサーバー) : 1GB 以上の空き容量*

メモリ (クライアント) : 1GB 以上の空き容量

*管理するクライアント数により、推奨以上のメモリ容量が必要です。

*Linux の対応 (32 bit(i386)のみ対応)

簡易 GUI クライアント版、Samba プラグイン再対応 :
Ubuntu 10.04.3 - 10.10, Debian 5.0 - 6.0.3,
OpenSuSE 11.0 - 11.1, Fedora 14

Samba プラグインのみ対応 :

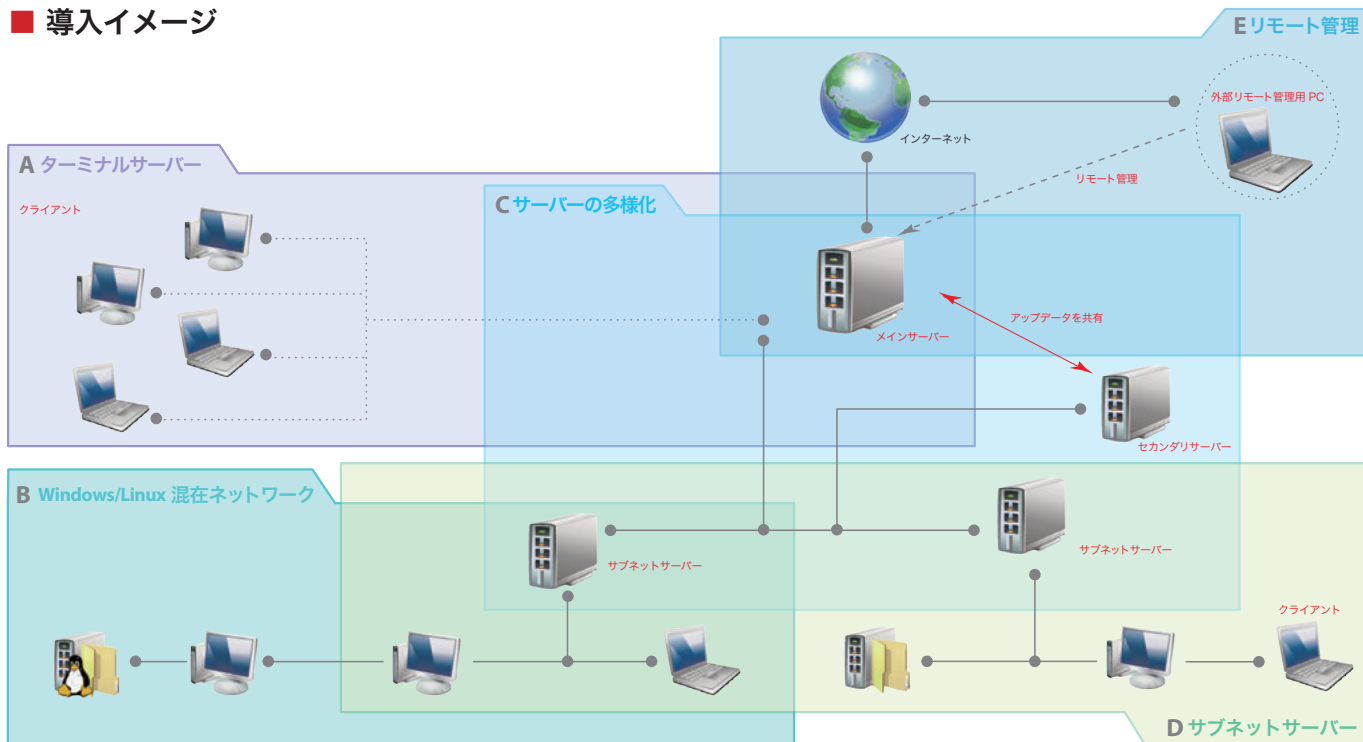
Ubuntu 8.04 - 9.04, Debian 4.0 - 6.0.3, SLED/SLES 10 SP2 - 11,
RHEL 5.3, Fedora 7 - 14



導入イメージ & メリット

G Data なら、すでに構築してあるネットワーク構成を大きく変えることなく、そのまま、高品質の外部からの脅威への対策と内部統制のソリューションをスムーズに導入できます。マニュアルなしでも驚くほど簡単に、インストールと操作ができます。さまざまな環境に対応しており、Linux クライアントの混在環境での使用や、セカンダリサーバーやサブネットサーバーを使った管理も可能です。中小企業から、さらに大規模なネットワークまで幅広く対応しています。

■ 導入イメージ



■ 導入メリット

1 クローズドネットワークも最新に

インターネット接続可能なパソコンと USB メモリがあれば、インターネットに接続をしていないクローズドネットワーク環境でも、最新の状態に更新可能です。

エンドユーザー：SIベンダーや医療機関、ほか

2 サーバーのライセンス

サーバー OS もクライアント OS も同一ライセンスなので、サーバーの増減にも柔軟に対応できます。もちろん、サーバーマシンもクライアント PC と一緒に管理できるので、管理コストを低減しながら、安全な環境が構築できます。

エンドユーザー：官公庁や企業、個人、ほか

3 出張や社外作業

出張や社外で業務を行う場合、社内ネットワークから離れるためセキュリティ面が不安ですが、定義ファイルなどの更新は、自動的にインターネットから直接ダウンロードする設定にできるので安心して利用できます。もちろん、管理者もリモートでマネジメントサーバーにアクセスできます。

エンドユーザー：特定派遣業や商社、ほか

4 ブート CD

産業機械や医療系 PC など、ウイルス対策ソフトをインストールできない環境でも、ブート CD 作成機能があるので、CD 起動によりハードディスクのフルスキャンを実行できます。

エンドユーザー：機械メンテナンスや PC 修理、ほか

5 外部デバイスでデータが持ち込まれる場合

USB メモリなどの外部デバイスでデータが持ち込まれても、外部デバイスからファイルをコピーする際にしっかりと検査。パソコン本体にマルウェアを侵入させません。

エンドユーザー：DTP ショップやプライダグサービス、ほか

6 持ち込み PC や出荷用 PC、外部デバイスなどの検疫

外部から持ち込まれたパソコンや USB メモリ、CD などをネットワーク内で活用する前に、スタンドアロンの検疫用パソコンで安全を確認する体制をとっている職場には、検疫用パソコンにのみインストールするという導入方法もあります。

エンドユーザー：SIベンダー、ほか

7 他社製品からの乗り換え

中～大規模なネットワークの場合でも、他社製品からの置き換えがスピーディーに実行できます。はじめにネットワークの一部を切り離し、テスト導入を実施し、問題がないようであれば、マネジメントサーバーを構築し、小規模もしくは業務上支障をきたさない小さな拠点から各クライアントに順次インストールを行います。

乗換の流れ

- ① テスト導入 動作検証～セキュリティポリシーの策定
- ② マネジメントサーバー構築～セキュリティポリシー設定
- ③ 既存製品のアンインストール メーカー提供のツールをクライアント各自で実行
- ④ 環境、条件などでグルーピングインストールパックを配布 クライアント各自で、G Data クライアントのインストールを実行



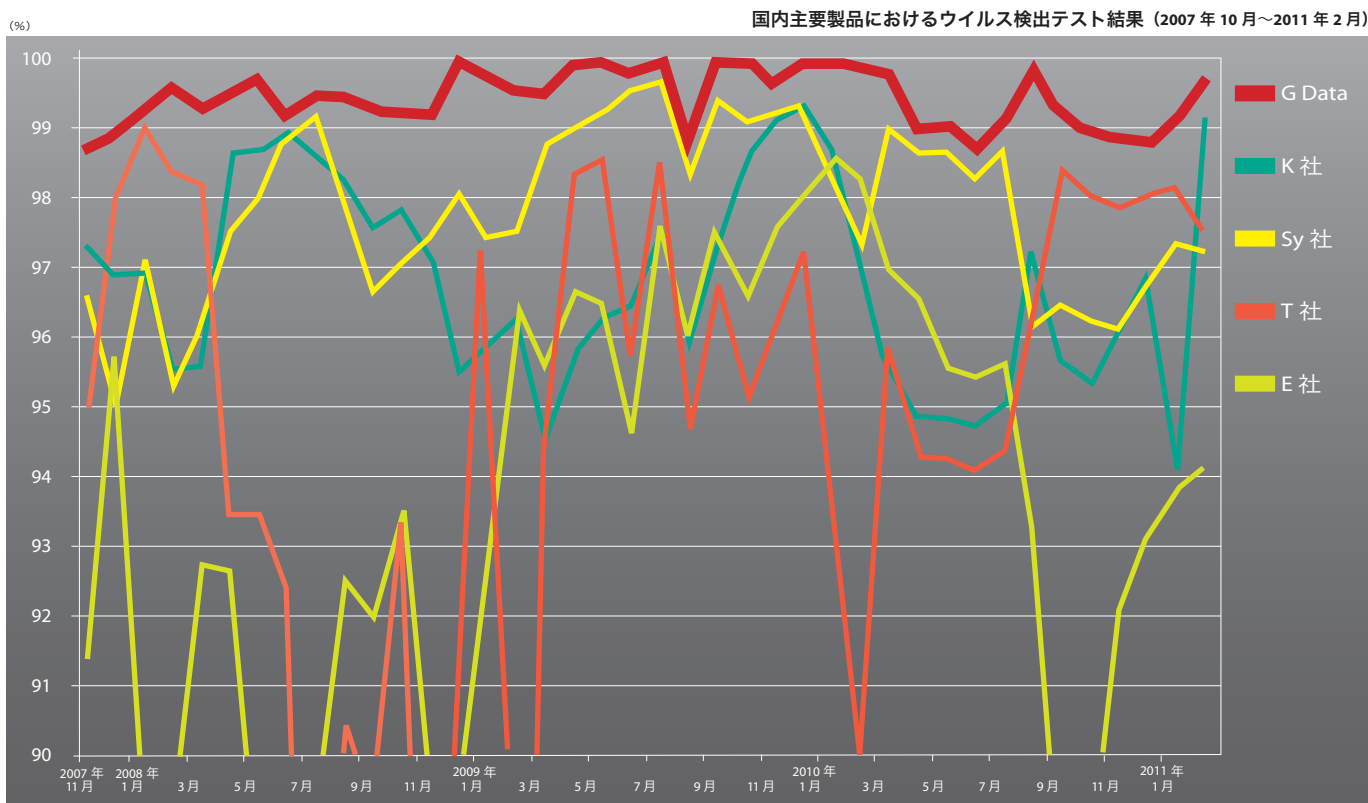
AV-TEST40 冠、世界最高水準のウイルス検知率

「多重防御」で「いつも最高値の安心」を提供します

追従を許さぬ最高のウイルス検知率

第三者機関によるウイルス検知テストの結果は、パソコンやネットワークのセキュリティにとって最も大事な「マルウェアを内部に侵入させない」というセキュリティ製品のクオリティを見定める、重要な指標です。G Data は第三者機関 (AV-TEST) における月例テストにおいて、40 ヶ月連続で 1 位を獲得しました (2007 年 11 月以来)。検知率は平均 99.43% で、97.83% である 2 位以下、他社製品を大きく引き離しました。マルウェアの攻撃はいつどのような形でやってくるかわかりませんが、いつでも最高値の安心を提供できるのが、G Data です。

*AV-TESTは、セキュリティ標準化団体「AMTSO (Anti-Malware Testing Standards Organization)」に参加する、ウイルス対策ソフトの機能全般のテスト評価を行う第三者機関です (www.av-test.org)



法人向け製品のテスト結果 性能比較テストにて最高評価「五つ星」を獲得



G Data は、第三者機関である AV Comparatives による、法人向けの内部統制機能を含む総合セキュリティ製品テストにおいて、連続で「合格」評価を獲得 (2010 年 10 月に発表)。

*AV Comparatives は、セキュリティ標準化団体「AMTSO (Anti-Malware Testing Standards Organization)」に参加する、ウイルス対策ソフトの機能全般のテスト評価を行う第三者機関です (www.av-comparatives.org)。

総合評価 ★★★★★ (最高評価)

評価ポイント

- 数百程度の中規模のネットワークに強みを発揮
- クライアントへのインストールの手間が少ない
- 管理がしやすい (使い勝手、管理画面)
- スпам監視能力が高い

「G Data は、どのようなネットワークにも対応する、秀逸なオールラウンド製品」

「G Data は、とても使い勝手のよい製品に仕上げることに成功した。しかも、十分な機能を搭載しながら、直感的に操作できるユーザーインターフェイスを備えている。」

アンドレアス・マクス (AV Comparatives 主宰)



エディ・ウィレムス

G Data Software セキュリティ エヴァンジェリスト

「近年、日本企業は、セキュリティポリシーや個人情報の取り扱い、そして、法的遵守など、パソコンやインターネットにかかわる法的対応に追われてきました。外部の脅威から社内の機器と情報を守ると同時に、社内からの情報漏洩や思わぬトラブルなどを避けるためにも内部統制はきわめて重要なテーマです。あなたの会社を守るためには、外部からも内部からもしっかりとした対策を施すべきでしょう。」



G Data Software 概要



G Data Software 本社 (ポーfum)

■ 主な受賞歴 (一部抜粋)

品質に厳しいドイツで育まれた G Data 製品は、毎年数多くの「受賞」「推奨」「1位」を獲得、世界各国で高い評価を得ています。



ICSA Labs (米)



Virus Bulletin (英)



West Coast Labs (英)



test (独)



AV-Test (独)



TÜV (独)



AV Comparatives (澳)
年間最優秀
(オンデマンド)



AV Comparatives (澳)
年間最優秀
(未知ウイルス)



PC-WELT (独)



PCSL Labs (中)



Vector プロレジ大賞



NEC ビックローブ
SOFTPLAZA
セキュリティ大賞



家電批評
ベストバイ
PC セキュリティ部門



ラジオライフ
グランプリ



PC 批評ベストバイ

G Data Software AG

所在地 Königsallee 178b, D-44799 Bochum, GERMANY

ホームページ <http://www.gdata.de>

設立年 1985年

取締役 フランク・ハイスラー

ディルク・ホッホシュトラーター

監査役 ホルガー・ベルクマンほか

従業員数 約 300名

子会社 G Data Software Sp.z.o.o. (シュチェチネク、ポーランド)

G Data Software K.K. (東京、日本)

G Data Software Italia Srl (ボローニャ、イタリア)

支社 フランス、オランダ、ベルギー、スペイン、オーストリア、イギリス、ロシア、米国、カナダ、中国

販売国 米国、日本、韓国、中国、台湾、ドイツ、イギリス、フランス、イタリア、スペイン、ポルトガル、ポーランド、オランダ、ベルギー、オーストリア、スイス、スウェーデン、ハンガリー、ロシア、ギリシア、メキシコ、トルコ、インド、南アフリカなど世界 90ヶ国以上



G Data の歩み

1985年 創業 (有限会社設立)

1987年 ATARI 向けのアンチウイルスソフト発売

1990年 PC 向けウイルス対策ソフト発売

2000年 株式会社化

2002年 ダブルスキャン技術を導入

2003年 ドイツ市場でトップシェアを獲得

2004年 インターネットセキュリティ製品発売

2005年 アウトブレイクシールド技術を導入

2006年 個人向け製品の日本語版の発売

2007年 日本法人を設立

2009年 法人向け製品の日本語版の発売

2011年 創業 25周年

日本法人

名称 G Data Software 株式会社

所在地 〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町 48 ヤマダビル 6F

日本支社長 Jag 山本

執行役員 瀧本往人

法人設立 2007年1月

資本金 3,000,000円

取引銀行 ドイツ銀行東京支店

三井住友銀行新宿西口支店



カントリーマネージャー
Jag 山本



代表取締役
フランク・ハイスラー



代表取締役
ディルク・ホッホシュトラーター



■お問合せ先

■販売代理店

G Data Software 株式会社
〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町 48
E-mail:gdata_japan_info@gdatasoftware.com

<http://www.gdata.co.jp>

Go safe. Go safer. G Data.